



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久 (APIR 研究統括)

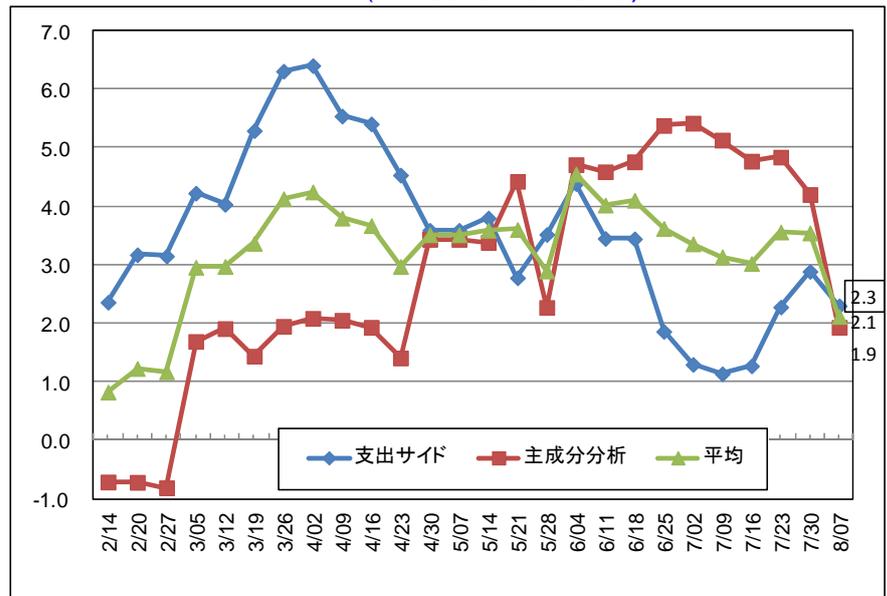
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: inada-y@apir.or.jp

日本経済(週次)予測(2012年8月7日)

ポイント

- ▶8月13日に4-6月期GDP1次速報値が発表されるため、今回が同期の最終予測となる。
- ▶最終予測では、7/31-8/6に発表された7月の食料安定供給費、6月の鉱工業生産指数、労働力調査、毎月勤労統計、家計調査、消費総合指数、新設住宅着工、製造業投入産出物価指数及び5月の建設工事費デフレータを更新している。
- ▶これらのデータは、民間最終消費支出、民間住宅、民間企業設備、民間企業在庫品増減、公的固定資本形成、公的企業在庫品増減及び雇用者報酬の予測値に影響を及ぼす。
- ▶今週(8/07)のCQM(支出サイド)は、4-6月期実質GDP成長率を前期比年率+2.3%と予測する。先週の予測(+2.9%)から下方修正された。
- ▶これまで高い成長予測を示していた主成分分析モデルも6月のデータの悪化を受けて、予測は同+1.9%まで低下した。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率
2012Q2 (%，前期比年率換算)



<4-6月期実質GDP成長率最終予測は前期比年率+2.3%>

8月13日に4-6月期GDP1次速報値が発表されるため、今回が同期の最終予測となる。最終予測では、7/31-8/6に発表されたデータ、すなわち、7月の食料安定供給費、6月の鉱工業生産指数、労働力調査、毎月勤労統計、家計調査、消費総合指数、新設住宅着工、製造業投入産出物価指数及び5月の建設工事費デフレータを更新している。

これらのデータは、民間最終消費支出、民間住宅、民間企業設備、民間企業在庫品増減、公的固定資本形成、公的企業在庫品増減及び雇用者報酬の予測値に影響を及ぼす。

6月の消費総合指数は前月比-0.7%低下し、3ヵ月ぶりのマイナスとなり事前予測を下回った。このため、4-6月期の実質民間最終消費支出の予測値は、先週から小幅下方修正(前期比+0.4%→同+0.3%)された。6月の建築工事費予定額は前月比-5.2%減少し、3ヵ月ぶりのマイナス。事前予測値は実績を下回ったため、4-6月期の実質民間住宅の予測値は先週から下方修正された(前期比+4.2%→同+3.0%)。また6月の資本財出荷指数は前月比-6.0%低下し、2ヵ月連続のマイナス。実績値は事前予測を下回ったため、4-6月期の実質民間企業設備の予測値は先週から下方修正された(前期比+2.1%→同+1.4%)。

今週(8/07)のCQM(支出サイド)は、4-6月期実質GDP成長率を前期比年率+2.3%と予測する。先週の予測(+2.9%)から下方修正。またこれまで高い成長を示していた主成分分析モデル予測も、6月のデータの悪化を受けて同+1.9%まで低下した。

- ・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
- ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。
- ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 contact@apir.or.jp 06-6441-0550